

Writing support center News Letter

ライティングサポートセンター・ニュースレター

You,
Unlimited



No. 002

ライティングサポートセンター・ニュースレターは、当センターの活動を、先生方により知っていただき、ご活用願うこと、学生に向けて利用を促していただくことを目的に発行しています。

巻頭言

長谷川岳史 「初めてのレポート」をサポートする

「初めてのレポート」をサポートする

経営学部教授
長谷川岳史



本学の学修支援環境、特にラーニングコモンズは全国的にみてもユニークなものです。「龍谷大学ラーニングコモンズ」は、スチューデント、グローバル、ナレッジの各コモンズの総称です。また、3 学舎のスチューデントコモンズにはライティングサポートセンターが設置されています。複数学舎を有する総合大学で、総合的・統括的に全学舎で支援を展開している大学はさほど多くはないのです。

ライティングサポートセンターの要はなんといってもライティング・チューターです。研修を受け、まずは先輩チューターの横に座り、チュータリングのコツをつかんでから独り立ちしていきます。私はこういった新人チューターの練習にもなると思い、毎年度、前期の早い段階で、経営学部の「フレッシューズゼミ」など、私の授業を受講している学生（一回生）に 600～800 字程度のレポート課題を複数回課し、以下の 3 点を毎回指示しています。

- ★〇月〇日～〇日の間に、ライティング・チューターのライティング支援を必ず1回は受けること。
- ★完成形に近い形の原稿と授業で説明した今回のレポートの要項をライティング・チューターにみせること。
- ★ライティング支援を受けた日時とライティング支援を受けた内容（受けたアドバイスの内容や気づき）を記入すること。

ライティング支援を受けた学生のレポートは、しっかりと「レポート」になって提出されます。学生個々の「気づき」のレベルにもよりますが、課題の度にライティング支援を受けることで学生は確実に力をつけていきます。

600～800 字程度と聞くと短かすぎると思うかもしれませんが、一回生にとっては大学に入って「初めてのレポート」です。初めて大学でレポート課題を出された時、学生の頭の中は「レポートってどうやって書けばいいの？」という状態になっています。ですから、いきなり 2000 字とか 4000 字のレポートは無理です。また、教員にとっても、学生個々の文章力に任せっきりにしたレポートに対し、すべてフィードバックすることは難しいでしょう。

もちろんライティング・チューターは内容には踏み込みません。あくまで文章作成に関する「気づき」を与えることに徹しています。しかし、ライティング支援を受けた学生は、人に文章を見せることで、自分では気がつかなかったクセや欠点に気づき、自分の文章をよりよくするコツと力が身につくことを実感しています。

私はこれからもライティング・チューターの力を借りながら、一回生の「初めてのレポート」をサポートしていきたいと思っています。

(1) 相談者総数: 1,422 人(のべ、前期: 726 人/後期: 696 人)

*相談枠を 45 分に設定しているため、45 分の区切りで算出している。以下、特記しないかぎり、45 分区切りからの算出。

(2) 学舎別(単位: %以外は人、以下同じ)

学舎	①前期	②後期	③合計	④在籍者数	③の④に対する割合	開室日数(年間)	1日の平均相談者数
深草	389	375	764	11,814	6.5%	129	5.9
大宮	87	122	209	2,150	9.7%	77	2.7
瀬田	250	199	449	6,395	7.0%	77	5.9
合計	726	696	1,422	20,359	7.7%(平均)	283	4.8(平均)

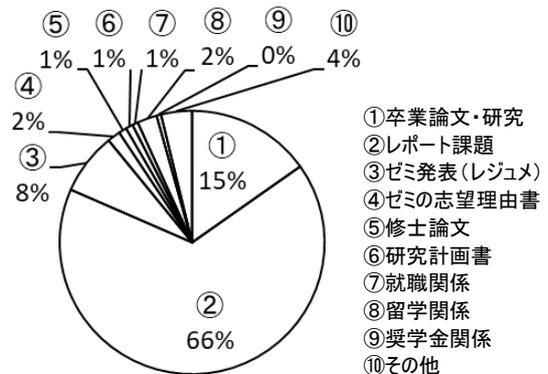
(3) 学部学年別(その他は、研究生、科目等履修生、外国人交換留学生)

	文	経済	経営	法	政策	国際	理工	社会	農	短期大	実践 真宗学	学年 合計
1年	191	4	28	14	1	232	18	102	68	8	—	666
2年	48	5	0	4	20	12	31	74	23	3	—	220
3年	94	4	0	30	11	7	7	60	9	—	—	222
4年	85	12	2	0	6	38	11	43	10	—	—	207
5年	24	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	24
6年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	1
修士	32	0	0	0	1	1	0	0	0	—	1	35
博士	21	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	21
研究生	0	0	0	2	0	3	0	0	0	—	—	5
その他	21	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	21
学部合計	517	25	30	50	39	293	67	279	110	11	1	1,422

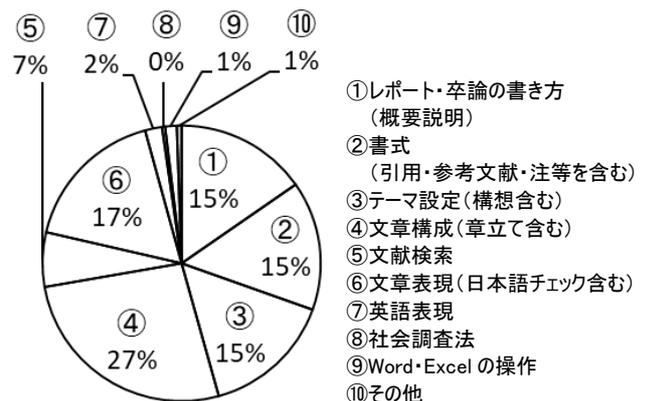
(4) 学部学科別(研究科は、学部と別項目としている)

学部/研究科	学科	相談者数	合計
文学部	真宗	40	464
	仏教	187	
	哲学・哲学	53	
	哲学・教育	2	
	臨床心理	20	
	歴史・日本史	35	
	歴史・東洋史	10	
	歴史・仏教史	4	
	歴史・文化遺産	1	
	歴史	6	
	日本語日本文学	87	
	英語英米文学	9	
	その他	10	
経済学部	—	9	25
	現代経済	10	
	国際経済	6	
経営学部	経営	30	30
法学部	法律	48	48
政策学部	政策	38	38
国際学部	グローバルスタディーズ	146	289
	国際文化	143	
理工学部	数理情報	2	67
	情報メディア	25	
	電子情報	3	
	機械システム工学	26	
	物質化学	6	
	環境ソリューション工学	5	
社会学部	社会	178	279
	コミュニティマネジメント	51	
	現代福祉	50	
農学部	植物生命科	30	110
	資源生物科	30	
	食品栄養	6	
	食料農業システム	44	
短期大学部	社会福祉	11	11
文学研究科	真宗	21	53
	仏教	32	
法学研究科		2	2
政策学研究科		1	1
国際文化学研究科		4	4
実践真宗学研究科		1	1
合計			1,422

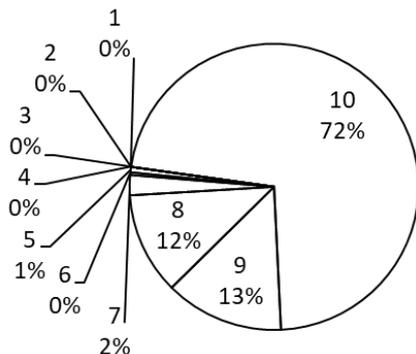
(5) 相談内容種別の割合



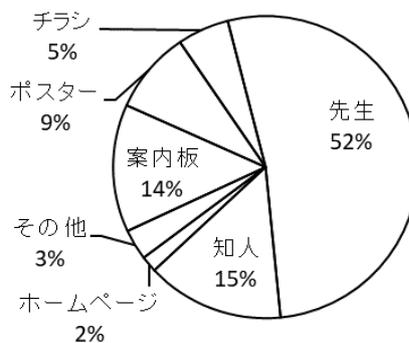
(6) 相談内容性質の割合



(7) 利用者の満足度(最高値 10、最低値 1)



(8) 広報の効果



(9) 出張講習・講習会

2019年度は、センターの周知と学生のライティング能力向上を目的として、出張講習、講習会を実施しました。出張講習は、センターで用意したライティングのテーマにて授業実施教室に出張して行いました。

2020年度後期は、出張講習、および講習会を行う予定でおすすめします。詳細は、後述します。

【2019年度実施した出張講習・講習会の実績】

- 出張講習：8件（受講者数合計：140人）
- 講習会：テーマ 卒業論文をスムーズに作成するために～論文の基本、再確認！～
 実施日時 10月21日（月）12：30～13：00
 実施場所 龍谷大学大宮学舎 東翼2F スチューデントコモンズ
 参加者 26人

(10) レポート課題での連携

2019年度は、以下のとおり、レポート課題での連携を実施しました。先生からのご要望を受けて、ご相談のうえ、連携しました。その際、受講者数や連携の仕方（相談が必須か任意か）などを担当の先生からうかがい、課題の詳細を記した資料をご提出願いました。その資料にも照らして、個々の学生の相談に応じました。

【2019年度のレポート課題での連携実績（全学）】

- 連携の件数：20件（前期：10件、後期：10件）
- 相談者数：447人（前期：270人、後期：177人）
- 備考：連携・実施に際しては、つぎのことを留意点としていました。
 - ・相談証明としてチューターのサインを施すことはしていません。ただし、相談に来た証明として「相談者受付シート」を複写し、学生に手渡すことが可能です。
 - ・相談内容を開示することはできません。
 - ・相談の応じ方について、問い合わせをさせていただくことがあります。

お知らせ センターの紹介・説明

当センターでは、先生からのご要望を受けて、ご相談のうえ、センターの紹介・説明を行います。本年度後期は、オンライン（Google Meet）にて実施します。具体的には、スーパーバイザー、あるいはチューター・リーダーが、センターの基本情報や活用法、よくある質問などの説明を10～15分程度で行います。ぜひご活用ください。

【2019年度のセンター紹介・説明の実績】

- 実施数：4件（前期：2件、後期：2件）

【お問い合わせ】

センターの紹介・説明についてのお問い合わせは、最終ページにある奥付の【連絡先】まで、ご連絡ください。

お知らせ ライティングサポートセンターのオンライン講習会

当センター主催のオンライン講習会を、以下の内容で準備しております。チラシ、学生の参加方法等、詳細はあらためてお知らせいたします。

【センター主催オンライン講習会の内容】

講習テーマ：卒業論文・卒業研究をスムーズに作成するために ～論文の基本、再確認！～

日時：2020年10月21日（水）12：30～（40分程度）

2020年10月23日（金）12：45～（40分程度） *両日とも同じ内容です。

場所：オンライン（Google Meet）

概要：序論・本論・結論の役割を解説します。特に序論での書くべきポイント、本論で根拠を示す際の留意点に言及します。講習の最後に、センターの紹介・説明を行います。

お知らせ ライティングサポートセンターの出張講習

2020年度後期、先生からの依頼を受けて出張講習を試行的にオンラインにて実施する予定です。詳細はあらためてご案内いたします。

以下、参考までにご確認ください。

1. 出張講習の目的

- 1) 学生のライティング能力、論理的思考力を高める。
- 2) 学生のセンター利用を促す。

2. 出張講習の実施者・対象・実施対応日・実施場所

- 1) 実施者：ライティングスーパーバイザー、あるいは、チューター・リーダー
- 2) 対象：原則として、1年生の受講科目を対象とします。
ただし、その他の授業についても、ご相談の上、実施することを検討させていただきます。
- 3) 実施対応日：月～金曜日 10：00～17：00
- 4) 実施場所：オンライン（Google Meet）

3. 実施内容

以下、4つの講習テーマを用意します。その中から1つをお選びください。

所要時間は、各テーマおよそ60分です。そのうち、センターの紹介に少々時間をください。また、アンケートにもご協力のほどお願い申し上げます。

【各テーマ】

- ①レポートにおけるテーマの絞り方
- ②レポートの作り方A ——構成を知ろう！
- ③レポートの作り方B ——手順を知ろう！
- ④レポートの作り方C ——引用の仕方・注と参考文献の書き方

ライティングサポートセンターを学生に周知していただきたくご依頼申し上げます。ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ライティングサポートセンターでは、学生へのアカデミックライティングの指導を主な目的として、「学生に考えさせる」（答えを教えない）ことを基本姿勢に、大学院生を中心としたチューターがレポートや論文作成など、書くことに関するサポートを行っています。ライティングサポートセンターへのご意見やご質問などがございましたら、下欄の奥付にある【連絡先】まで、お寄せください。

【ご依頼の内容】

学生にライティングサポートセンターについて、以下の事項をご紹介します。

1) レポートや論文、レジュメなどを作成するにあたって、ライティングサポートセンターを予約の必要なく利用できます。例えば、次のようなケースで利用してください。

- 文章に自信がないので他の人に意見を聞きたい。
- 資料の探し方や使い方がわからない。
- レポート課題や卒業論文などについて、どのように取り組めばよいのかわからない。

2) ライティングサポートセンターの開室曜日・時間などの基本情報

*本年度後期は、オンライン対応です。前期と同じく、google meet による対応を主とします。

google meet の対応が難しい場合は、試行的にメールによる対応を実施しますので、ご利用ください。

① google meet による対応

開室曜日：10月2日（金）～1月28日（木） 月～金 *授業実施期間（補講日を除く）

相談枠：対応基本時間 60分

11：30、13：00、14：30、以上3枠の時間帯を予約時に選択

予約方法：ポータルアンケート機能利用

*相談や予約の方法に関する詳細は、以下をご参照ください。

<https://www.ryukoku.ac.jp/writingsupport/index.html>

②メールによる対応

開室曜日：10月2日（金）～1月28日（木） 月・水・金 *授業実施期間（補講日を除く）

相談枠：11：30～16：30

メールの送り先：wsc@ad.ryukoku.ac.jp

メールの送り方：件名には、フルネーム（学籍番号）、簡単な相談内容を明記してください。

例）龍谷太郎（L20****）、レポートの相談

備考：つぎの点に留意してください。

- ・返信には時間を要する場合があります。時間的な余裕をもって相談メールを送ってください。
- ・あまりに多数の相談メールが寄せられた場合、応じられない旨を通知することもあります。



【連絡先】

○ 担当者：島村健司（ライティングスーパーバイザー）
メール：writingsupervisor@mail.ryukoku.ac.jp

○ 担当部署 教学企画部 担当：奥田・荒木（内線 1050、1052）
メール：dche@ad.ryukoku.ac.jp